

新年あけましておめでとうございます。みなさんいかがお過ごしでしょうか。

ウィスコンシンでは大雪が重なり、合わせて4日ほど休校になったり、雪かきをしなければならなかったりと、雪国の洗礼を受ける1か月になりました。また、12月はクリスマスと年越しがあり、アメリカでも少し浮ついた雰囲気だったように感じます。

私は今年のクリスマスとお正月をコロラドで過ごしました。コロラドにはロッキー山脈の南部が位置していて全体的に標高が高く、どこに行っても山が見えます。クリスマスにはホストマザーの親戚から多すぎて驚くほどのプレゼントをもらいました。家族の一員として認められていると感じられてうれしかったです。これ以外にも、各家の前のクリスマス仕様のデコレーションなど、いろんなところで日本とアメリカのスケールの違いを感じます。初対面の人ともたくさん会いましたが、アメリカに来てすぐの時に比べると初対面の人にもあまり頭で考えることなくすらすらと話せたので、英語力の上達を実感できる機会にもなりました。クリスマス当日はスターバックスも閉まっているぐらい町が静かで、日本でいうお正月のような雰囲気です。そのぐらいアメリカ人にとってのクリスマスは大切なイベントなのだと感じられました。一方、年越しにはパーティーはしたものの、まだクリスマスツリーもデコレーションも残っている中なので、クリスマスがまだ続いている感覚でした。おせちもお餅もないお正月は個人的に味気なくも感じたのですが、一生記憶に残るものとなりました。

ここで、コロラドで訪れた場所を少し紹介します。ホストファミリーは、嬉しいことにとってもアクティブなので、たくさん経験をさせてもらいました。

まず、Crested Butteというスキーリゾートに行きました。コロラドはスキー場がとても有名です。海外ではまだスキーをしたことがなかったのですが、スキー場の違いはあまり感じませんでした。ひとつ挙げるとすれば、スキー場の定番お昼ご飯が違って、スキー場でもバーガー、ピザが主流でした。とても広くて景色はとても素敵でしたが、ゲレンデから入り口もスキーを履いて歩くのには遠すぎる距離だったので少し苦労しました。

次は、Great Sand Dune 国立公園です。都会からは少し離れていて、山に囲まれた中、いきなり現れる砂丘はとてもきれいで感動しました。一番高いところまで登ったのですが、登山と比べると砂が足をとるので、前に進めている感覚がなく、頂上までの道が永遠に感じられました。しかし、頂上からの景色は圧巻です。私たちが使う道とは逆側を見ると、まだずっと先まで広がる砂漠が見えました。初めて国立公園に行ったのですが、アメリカの自然の雄大さを実感できました。





また Garden of Gods や Tunnel Dr. Trail など、アメリカ西部と聞いて思い浮かべるような、岩でゴツゴツした乾燥している地域の景色も見ることができました。映画やテーマパークで見た景色を間近で見る経験などなかなかないので、来てよかったと思えます。

飛行機の欠航などもあり、予定通りには進みませんでしたが、思い出深い冬休みになりました。いろんな場所で会った人たちにアメリカ生活が楽しいか聞かれるのですが、たくさんの新しいものや人との出会いは刺激的でとても楽しいといつも答えます。それをまさに体現するような旅行でした。日常生活にまたもどりますが、日々の新しい発見を大切にしていきたいです。

次世代リーダー育成道場 10 期生、白鷗高校 14 期生 Y.K